

平成27年度はこんな事業に取り組みました ～主な事業～

「支えあい、健やかな暮らしができるまち」づくり

出産祝品購入費助成経費	1,309千円
育児用品購入費の一部助成。H27年度から10,000円に拡充。	
特定不妊治療費助成経費	1,101千円
不妊治療費の一部を助成。	
農産物特産品開発支援経費	4,139千円
花貫フルーツほおずき、高萩真心一魂(日本酒)の開発等	
子育て家庭応援・シニア応援「プレミアム商品券」購入支援経費	
商品券18,000部(プレミアム率2割に拡充)を発行	6,695千円

「安心して安全に暮らせる環境と調和したまち」づくり

消費生活センター事務経費	3,513千円
H27年度より相談日を週3日から5日へ拡充	
茨城県防災情報ネットワークシステム整備事業	14,887千円
県内自治体や防災関係機関と通信ネットワークを再構築	

「暮らしやすい快適なまち」づくり

津波避難東西連結道路(浜野町踏切)整備事業	49,673千円
津波避難東西連結道路(高萩陸橋)整備事業	108,496千円
津波から沿岸地域を守るための避難路を整備	
トンネル照明器具整備事業	5,778千円
若栗トンネルの照明点検等を実施	

「地域の活力があふれるまち」づくり

避難所誘導街路灯整備事業	102,276千円
小・中学校を中心に避難誘導用の街路灯を整備	
公共施設誘導サイン設置事業	11,653千円
観光施設等への誘導サイン・施設前サインを整備	
ハッピーサポート事業経費	1,000千円
少子化対策として男女の出会いの場の創出事業を実施	

「豊かな心を育み、萩っ子がいきいきと育つまち」づくり

秋山小学校校舎改築事業	120,825千円
秋山小学校の北側校舎を改築	
広島平和学習派遣事業経費	1,278千円
平和学習として小・中学生を2泊3日で広島へ派遣。	

「ともに力をあわせてつくる自立したまち」づくり

社会保障・税番号制度導入経費	24,815千円
制度導入に伴うシステム改修を含む各種経費	

東日本大震災復旧・復興事業

本庁舎災害復旧事業	1,598,336千円
本庁舎建設事業に要する経費(H27～29年度継続事業)	

高萩市の決算を「家計簿」に例えてみました

市の平成27年度決算を紹介しましたが、歳入歳出を性質別に分け、仮に「年収542万円※」の世帯として一般家庭の項目に置き換えてみました。目安としてご覧ください。



市の歳入

市財政の項目	金額	率(%)
市税	39億1,297万円	26.6%
繰入金	5億7,940万円	4.0%
使用料手数料、分担金負担金、諸収入、財産収入、寄附金	9億4,071万円	6.4%
繰越金	7億1,545万円	4.9%
地方交付税、交付金、地方譲与税	46億5,278万円	31.5%
国県支出金	23億7,015万円	16.1%
市債	15億4,733万円	10.5%
合 計	147億1,879万円	100.0%

家計簿の収入

家計簿の項目	金額
給料(基本給)	144万円
貯金の引出し	22万円
パート収入など	35万円
昨年の残金	27万円
父母などからの支援	170万円
医療費助成や奨学金など	87万円
借金	57万円
合 計	542万円

市の歳出

市財政の項目	金額	率(%)
人件費	23億8,618万円	17.1%
扶助費	22億8,258万円	16.4%
公債費	16億7,965万円	12.1%
物件費、補助費	22億4,585万円	16.2%
繰出金	17億6,505万円	12.7%
投資及び出資金、貸付金	4,093万円	0.3%
積立金	2億8,267万円	2.0%
普通建設事業費、維持補修費、災害復旧事業費	32億2,403万円	23.2%
合 計	139億694万円	100.0%

家計簿の支出

家計簿の項目	金額
食費	88万円
医療費、介護費など	84万円
ローンの返済	62万円
光熱水費や生活用品の購入、町内会費など	83万円
子供への仕送り	65万円
知人への援助や貸付など	1万円
貯金	10万円
自宅の増改築や修繕、車の買換えなど	119万円
合 計	512万円

家計簿で見ると、収入総額の542万円のうち、自主財源に相当する給料やパート収入、貯金引出しなどは約200万円です。義務的経費に相当する食費や医療・介護費、ローン返済として約234万円を支出すると残金がほぼ無くなってしまうため、光熱水費や生活用品購入、子供への仕送りをするために、援助金や借金をして何とか家計をなっています。

※「厚生労働省 平成27年国民生活基礎調査」の1世帯当たりの平均所得額を参考にしました。